

ブナにとっては最高の植樹日和🌧️

令和7年6月22日（日）鯉ヶ沢町黒森地区の「白神自然学校遊々の森」にて、「第23回白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川」が開催されました。

この遊々の森は、津軽森林管理署と NP0 法人白神自然学校一ツ森校が協定を結び、さまざまな体験活動や学習活動を行っている国有林です。

当日の天気は土砂降りの雨で、県内各地からの参加者には厳しい作業環境でしたが、苗が乾燥する心配がないため、ブナにとっては最高の植樹日和となりました。今回植えたブナの苗は、白神山地内で採取した種を NP0 法人が5年間育てたもので、高さはおおよそ1.5mにまで成長しています。これらの苗を約60本、約40名の参加者で手分けして植え付けました。

植付作業は、以下の手順で行いました。

1. 半径1m以内に人がいないかしっかり確認
2. 鎌をしっかりと振り上げ、深さ30～40cmまで土を掘る
3. 掘った穴に肥料を1/3ほど入れ、苗木をまっすぐに立てる
※今回は NP0 法人の方針により、生育を助けるため肥料を入れました。
4. 掘り起こした土と残りの肥料を戻し、しっかりと踏み固める

最後の「踏み固め」をしっかりと行うことで、地中の空気を抜き、根の乾燥を防ぐことができます。これが根の活着を良くする最大のポイントです。

実際にやってみると、30cmもの深さまで土を掘るのはなかなか大変で、体力を使う作業でした。それでも皆さん、周りの方と協力しながら作業を進め、すべての苗を植え終えることができました。作業後は全員泥だらけでしたが、「やり切ったぞ!」という清々しい表情を浮かべていました。

白神山地のブナの植樹体験は、なかなか得られない貴重な機会です。これらのブナが無事に育ち、未来へとつながることで、白神山地のブナや地球環境の保全に貢献できればと思います。

また、この遊々の森が針広混交林になるのも楽しみです。

皆さんも、機会があればこのような活動に参加してみたいはいかがでしょうか！



津軽森林管理署 業務グループ 伊藤 春菜

